

受講内容 全44章

① 鳴く虫の不思議

秋の夜、耳をすますと虫の音が聞こえてくる。虫の鳴き声を聞きながら、虫の気持ちになってみよう。

② 柿の不思議

秋はくだものが美味しい。でも、くだものはどうして美味しいのだろう？なぜ、私たちが喜ばせてくれるのだろう？その意味を考えてみよう。

③ サメの不思議

サメと聞くと恐ろしい生き物を思い出してしまう。でも、すべてのサメが怖い生き物ではない。やさしくて弱いサメもいる。そして、何よりサメは私たちの大先輩。この章ではサメの事を考えてみよう。

④ タンパク質の不思議

タンパク質は肉や牛乳に多く含まれていて筋肉を成長させるには重要だ。ボディービルダーが飲んでいるプロテインとはタンパク質の英語だ。でもタンパク質は体をつくるだけではない。タンパク質には色々な種類があって、みんな別々の役割をもっている。この章ではタンパク質について考えてみよう。

⑤ どんぐりの不思議

冬は寒い。だから山の動物たちは体にエネルギーを蓄えなければならない。ちょうどその頃、木の上からどんぐりが落ちてくる。森の木の種だ。ネズミやリス、そしてイノシシなどの動物にとってこれほどありがたいものはない。この章ではどんぐりについて考えてみよう。

⑥ おせちの不思議

お正月にはおせち料理を食べる。新しい年のお迎えだから、やはり縁起が良いものを食べたい。お母さんたちは、せめて正月くらい食事を作らずに過ごしたい。そんな色々な思いが込められたのがおせち料理。おせち料理に込められた様々な思いを感じてみよう。

⑦ 消化の不思議

私たちは動かし、考える。それにはエネルギーが必要。そのエネルギーはどうやって作るのか？それは米だ。パンだ。それに含まれているデンプンだ。このデンプンがどうやってエネルギーになるか？

⑧ アザラシの不思議

北海道の海では冬になると氷が流れてくる。もちろん北の方から。それとともにやってくる動物がいる。アザラシだ。どうして、寒い冬だけ来るのだろうか？

⑨ タネの不思議

私たちの主食は米。米はイネのタネ。同じように私たちは小豆や大豆も食べる。空豆も食べる。マメもタネ。でも、なんか違うような気がする。この章ではタネについて考えてみよう。

⑩ ザトウクジラの不思議

冬になるとザトウクジラがやってくる。北の方からやってくる。とにかくクジラよりでかい。ゾウよりでかい。なぜ、こんなに大きいのか？なぜ、こんなに大きくなるといけないのか？

⑪ 菜の花の不思議

春はどんどん暖かくなり色々な花が順番に咲く。菜の花も黄色い花をつける。菜の花の名前はアブラナ。でも、どうして花は同時に咲くのだろう。

⑫ イシガメの不思議

カメって可愛い。同じ爬虫類なのにヘビとは違う。さわると手足を引っ込める。しばらくするとゆっくり周りを見ながら頭を出す。カメってどんな生き物かな？日本にしかないイシガメで考えてみよう。

⑬ 血液の不思議

運動会でこけた。ひざから赤い血が出た。保健室に行き、アルコールで消毒してもらった。でも、既に血は止まり、かさぶたが出来ていた。なぜ、血は赤いのだろう？なぜ、血は固まるのだろう？

⑭ シカの不思議

ケンカが強いオスが遺伝子を残し、子育て上手なメスが遺伝子の残す。そんなシカを考えてみよう。